環境県民局 資　　料	Ｎｏ．７

令和８年 11 月 19 日
課　名　環境県民局わたしらしい生き方応援課
担当者　課長　井上
内　線　2733

令和８年度上半期のエソール広島の活動状況について

１　要旨・目的

広島県女性総合センター（エソール広島）の令和８年度上半期の活動状況について取りまとめを行い、その内容を報告する。

２　現状・背景

「わたしらしい生き方応援プランひろしま」（男女共同参画基本計画）に基づき、エソール広島が、性別にかかわらず多様な選択をすることができる社会の実現に向けた個人や団体の活動・交流の拠点性を高めていくために、取組を着実に実施することが重要であることから、事業の実施状況や施設の利用状況等を取りまとめ、活動の振り返りを行うことで、今後の取組の充実・強化を図ることとしている。

３　概要

（１）対象者

県民

（２）事業内容　（詳細は別紙のとおり）

「わたしらしい生き方応援プランひろしま」に基づき、性別にかかわらず誰もがわたしらしく生きることのできる社会を実現するため、次の３点を重点項目として事業を実施した。

＜重点項目＞

（ア）性別にかかわらず「わたしらしい生き方」を選択する意識改革
（イ）様々な困難を抱える方への支援の充実・強化
（ウ）性の多様性の理解促進と性的指向・ジェンダーアイデンティティにかかわらず安心して暮らせる環境づくり

ア　重点項目等の主な取組

（ア）性別にかかわらず「わたしらしい生き方」を選択する意識改革

・　地域活動において多様な意見を反映することの意義などを学ぶシンポジウムを開催したほか、身近な社会課題についてジェンダーの視点から考えるワークショップを実施中である。

【わたしらしい生き方を選択するための公開講座参加者数：184 人】

・　性別による固定観念の解消に向け、日頃抱いている性別に関する「もやもや」を川柳の形で募集・発信するジェンダー川柳コンテストについて、協賛企業 20 社の広報協力を得ながら実施している。

【応募数：4,337 作品（R7 年度：4,244 作品）】

（イ）様々な困難を抱える方への支援の充実・強化

・　家族や職場の人間関係トラブルや将来への不安などに対し、電話相談や面接相談を行ったほか、こども家庭センターや医療機関等の専門機関へつなぐ対応を行った。令和８年度上半期は前年同期比でほぼ横ばいの 1,246 件の相談が寄せられた。相談内容は、健康、孤独などの不安や悩みに関する相談が増加しており、年代別では 70 代以上が増加している。

区　分		令和８年度上半期	令和７年度上半期	対前年同期比
一般相談	電話相談	1,209 件	1,225 件	98.7%
	面接相談	37 件	63 件	58.7%
合　計		1,246 件	1,288 件	96.7%

・　弁護士相談会を実施し、夫婦・家族の問題などの相談をつないだ。

（ウ）性の多様性の理解促進と性的指向・ジェンダーアイデンティティにかかわらず安心して暮らせる環境づくり

・　性的指向、ジェンダーアイデンティティに関する悩み等に対し、週１日の電話相談で対応した。相談件数は前年度から減少し、年代別では 30 代からの相談が増え、約６割を占めた。

区　分		令和８年度上半期	令和７年度上半期	対前年同期比
LGBT 相談	電話相談	92 件	116 件	79.3%
	面接相談	０件	３件	－
合　計		92 件	119 件	77.3%

・　福山市で実施した LGBT 相談会では、支援者による面接相談及び相談者同士が交流できるグループ相談の場を設けた。【9/23 実施、８人】

・　性の多様性に関する理解促進について、県教育委員会等と連携し高等学校における出前授業を実施したほか、若者の身近にいる教職員や保護者等を対象に、正しい知識や理解を深め、実践的な支援の方法などを学ぶ講座等を実施した。【出前授業：２回　336 人】

（エ）重点項目以外の主な取組（交流・連携）

・　県や教育機関、民間団体と連携し、ジェンダーや女性活躍について取り上げた共催イベントを実施したほか、企業・団体からの研修を受託し、講師派遣を行った。

【共催事業：10 回、715 人（R7 年度上半期：17 回、1,017 人）】

【研修受託：７回、196 人（R7 年度上半期：２回、61 人）】

・　ホームページ上でセミナーの案内や実施内容等について発信したほか、フェイスブックやインスタグラムなどの SNS を利用し、施設の利用案内や各種講座・研修の情報発信を行った。

イ　エソール広島の利用状況

・　エソール広島の利用者数のうち、施設利用者数は前年同期比で９割を超えており同水準を維持している一方で、共催事業等による外部施設での参加者数は３割程度となったことで、利用者数全体では前年同期と比較し約７割となっている。

区分		令和８年度 (4～9 月)	令和７年度 (4～9 月)	対前年同期比
利用者数		13,380 人	18,284 人	73.2%
	施設利用者数	11,585 人	12,359 人	93.7%
	外部施設での参加者数 （出前授業等）	1,795 人	5,925 人	30.3%

ウ　令和８年度上半期の取組の評価と今後の対応

・　ジェンダー川柳コンテストでは、協賛企業が昨年度から３社増えた。作品募集ではSNS広告や協賛企業等による広報協力・職域での参加呼びかけによって昨年度を上回る応募があり、中には学校単位での団体応募もあった。下半期は、県民投票や優秀作品の授賞式などの機会を捉えた広報等により、県民の意識改革の気運醸成を図っていく。

・　相談事業では、相談内容に応じて専門機関等の具体的な支援への接続ができたほか、弁護士による面接相談は、他機関を介することなくワンストップでつなぐことができ、弁護士相談までの機関は電話相談等により随時フォロー行った。引き続き、相談内容の傾向等を踏まえ、電話・面談相談を適切に実施する。

・　LGBT 相談では、福山市での面接相談を実施し、100%と高い満足度や、性の多様性をテーマとした公開講座の理解度は高かったものの、地域や職場、学校など様々な場面で周囲の無理解・偏見等による困難を感じる方が依然として存在しているため、引き続き企業や学校等と連携した理解促進に取り組む。

・　企業等からの研修受託回数、参加者数は増加した一方で、県や民間団体と連携実施する共催事業や高等学校への出前授業の実施回数が減少した。引き続き、教育委員会等とも連携を図りながら、学校への広報等を行い、若年層への男女共同参画に関する研修機会の確保を図る。

（４）予算（令和８年度）

86,660 千円（単県）

別紙（詳細版）

令和８年度上半期のエソール広島の活動状況について

（令和８年11月19日
わたしらしい生き方応援課）

広島県女性総合センター（エソール広島）の令和８年度上半期の活動状況について取りまとめを行い、その内容を報告する。

第１　エソール広島の事業の実施状況について

「わたしらしい生き方応援プランひろしま」（男女共同参画基本計画）に基づき、エソール広島が、性別にかかわらず多様な選択をすることができる社会の実現に向けた個人や団体の活動・交流の拠点性を高めて行くため、次の３点を重点項目として事業を実施した。

＜重点項目＞
１　性別にかかわらず「わたしらしい生き方」を選択する意識改革
２　様々な困難を抱える方への支援の充実・強化
３　性の多様性の理解促進と性的指向・ジェンダーアイデンティティにかかわらず安心して暮らせる環境づくり

１　性別にかかわらず「わたしらしい生き方」を選択する意識改革

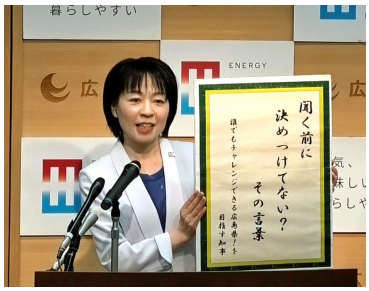
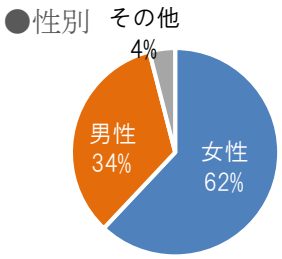
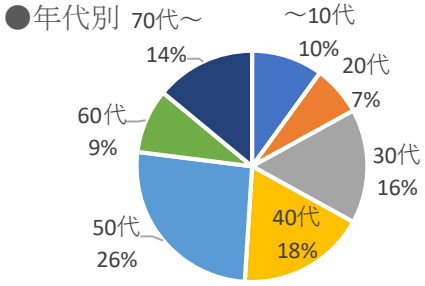
（１）事業内容

○　地域活動において多様な意見を反映することの意義などを学ぶシンポジウムを開催したほか、身近な社会課題についてジェンダーの視点から考えるワークショップを実施中である。また、性別による固定観念の解消に向け、男女双方の意識改革を促すジェンダー川柳コンテストを実施している。

ア　わたしらしい生き方を選択するための公開講座

講 座 名	実施日	参加者	内　容
エソール広島フェア「あなたらしさが、社会のチカラ　～誰もが参加できる地域づくりが、ここから始まる～」	6/28	165人	男女共同参画週間にあわせて、地域活動における多様な意見の反映をテーマとしたシンポジウムを実施した。併せて、男女共同参画活動団体による発表や交流イベントも実施した。 ・理解度：100.0% ・受講者の声：「自治会が直面している課題について、女性目線で率直に話してもらって参考になりました。」など
出張！エソール塾 In 府中市	9/3 9/17 10/1 10/15 11/19	19人	広島県及び府中市と連携し、参加者同士が対話を通じて、地域や職場の身近な課題や魅力に気づき、課題解決についてグループで考え発表するワークショップ講座を５回連続で実施している。

イ　ちぃと もやもや ジェンダー川柳コンテスト

事 業 名	内　容
ちぃともやもやジェンダー川柳コンテスト 2026  （知事定例会見）  	固定的な性別役割分担意識の解消を目的に、日頃抱いている「男だから」「女だから」といった思い込みや決めつけで感じた「もやもや」を川柳の形で募集する県民参加型のコンテスト。 ４回目となった令和８年度は、県内企業 20 社からの協賛を得て、９月１日から 10 月 13 日にかけて川柳を募集した。 審査員や企業賞を提供していただいた特別協賛企業６社による審査のほか、県民による共感作品への投票を経て、12 月 22 日（火）に結果発表を予定している。 〇応募総数　4,337 作品（令和７年度　4,244 作品） 〇多く寄せられた作品の内容 ・「男らしさ」や「女らしさ」を決めつける言葉や慣習に関するもやもや 〇協賛企業数　20 社（令和７年度　17 社） 〇応募者の属性  

（２）評価と今後の対応

○　今年度、新たに実施した「エソール広島フェア」では、満足度は 98.1％と高く、地域活動への多様な意見の反映の大切さについて高い理解度が得られた。

○　ジェンダー川柳コンテストでは、協賛企業が昨年度から３社増えた。作品募集では SNS 広告や協賛企業等による広報協力・職域での参加呼びかけによって昨年度を上回る応募があり、中には学校単位での団体応募もあった。【応募数：4,337 作品（R７年度：4,244 作品）】

○　下半期は、エソール塾では地域課題の解決に向けたグループ発表を行うほか、川柳コンテストは、県民投票や優秀作品の授賞式などの機会を捉えた広報等により、県民の意識改革の気運醸成を図っていく。

２　様々な困難を抱える方への支援の充実・強化

（１）事業内容

○　相談業務（一般相談）では、家族や職場の人間関係トラブルや将来への不安などに対し、電話相談や面接相談を行ったほか、こども家庭センターや医療機関等の専門機関へつなぐ対応を行った。令和８年度上半期は、前年同期比でほぼ横ばいの 1,246 件の相談が寄せられた。相談内容は、健康、孤独などの不安や悩みに関する相談が増加しており、年代別では 70 代以上が増加している。

○　電話・面接相談のみでは解決の糸口が見出せない相談に対しては、弁護士相談会を実施し、夫婦・家族の問題などの相談をつないだ。【5/17、7/17、9/18 実施、計７件】

○　対人支援に携わる方には多岐にわたる相談対応のスキルが求められることから、困難を抱える方への支援の充実・強化を図るため、支援者養成に取り組んだ。

ア　相談業務（一般相談）※　LGBT 相談は、「３」の性の多様性についての項目で後述

（ｱ）　相談件数

区分		電話相談※	面接相談※	計	対前年同期比
令和８年度　（4～9 月）		1,209 件	37 件	1,246 件	96.7%
令和７年度	（4～9 月）	1,225 件	63 件	1,288 件	－
	年　間	2,463 件	125 件	2,588 件	－

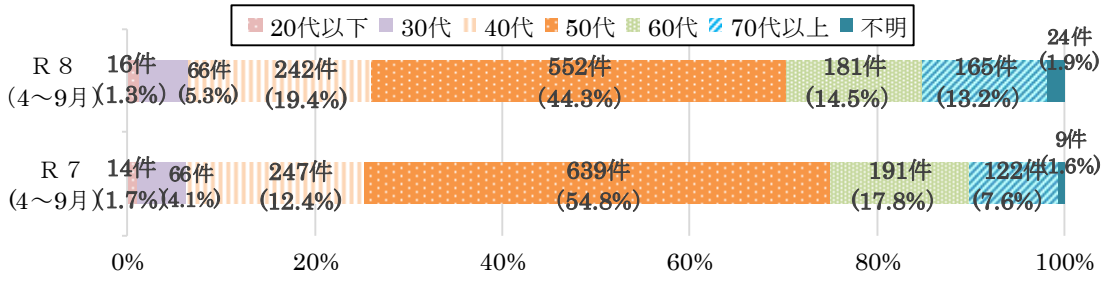
※　電話相談は週５日（水曜日、日曜日、祝日及び年末年始を除く）、面接相談は原則、毎週金曜日実施

（ｲ）相談内容

相談内容	令和８年度（4～9 月）	令和７年度（4～9 月）	対前年同期比
家族（夫婦、子供、親等）に関すること（離婚、夫婦間の DV、子供の教育、親の世話など）	413 件（33.1%）	475 件（36.9%）	86.9%
男女間や職場の人間関係など対人に関すること（男女･隣人･友人･職場等対人関係におけるトラブルなど）	274 件（22.0%）	292 件（22.7%）	93.8%
健康、孤独などの人生における不安や悩みに関すること（病気を抱える辛さや不安、今後の生き方など）	509 件（40.9%）	451 件（35.0%）	112.9%
その他（法律や福祉など様々な情報の収集など）	50 件（4.0%）	70 件（5.4%）	71.4%
計	1,246 件（100.0%）	1,288 件（100.0%）	96.7%

※　割合は端数調整の関係で合計が一致しない場合がある。

（ｳ）相談者の年代



（ｴ）専門機関との連携

専門機関	令和８年度 （4～9 月）	令和７年度 （4～9 月）	主な事例
行政機関（こども家庭センター等）	13 件	11 件	DV、家族に関する悩み
弁護士、家庭裁判所等	9 件	23 件	内縁解消、相続
民間施設	8 件	4 件	貧困問題、家族に関する悩み
医療機関等	4 件	7 件	家族との関係に関する悩み
計	34 件	45 件	

イ　支援者養成

講 座 名	実施日	参加者	内　容
支援者養成講座	7/18 7/19	28 人	令和４～７年度において実施した「対人支援の技術」講座の修了者等を対象とした、より実践的にカウンセリング方法等を学ぶための２日連続講座を実施した。 ・対　象：令和４年度～７年度支援者養成講座修了生 相談業務に携わっている方　など ・理解度：100.0% ・受講者の声：「具体的な事例を通して実践に結び付けて考えることができた」「今後の相談業務に活かしたい」など

（２）評価と今後の対応

○　相談事業では、相談内容に応じて専門機関等の具体的な支援への接続ができたほか、弁護士による面接相談は、他機関を介することなくワンストップでつなぐことができ、弁護士相談までの機関は電話相談等により随時フォロー行った。

○　支援者養成の取組では、教育機関や企業など様々な支援の現場からの参加が得られ、事例検討やグループワークなど参加者同士の交流の機会を設けたことで高い満足度を得た。

○　引き続き、相談内容の傾向等を踏まえ、電話・面談相談を適切に実施するとともに、支援者のスキルアップとネットワークづくりに取り組んでいく。

３　性の多様性の理解促進と性的指向・ジェンダーアイデンティティにかかわらず安心して暮らせる環境づくり

（１）事業内容

○　性的指向、ジェンダーアイデンティティに関する悩み等に対し、週１日の電話相談を開設し、必要に応じて医療機関等の専門機関につなぐ対応を行った。相談件数は前年度から減少し、年代別では 30 代からの相談が増え、約６割を占めた。

○　福山市で実施した LGBT 相談会では、支援者による面接相談及び相談者同士が交流できるグループ相談の場を設けた。【9/23 実施、８人】

○　性の多様性に関する理解促進について、県教育委員会等と連携し高等学校における出前授業を実施したほか、若者の身近にいる教職員や保護者等を対象に、正しい知識や理解を深め、実践的な支援の方法などを学ぶ講座等を実施した。

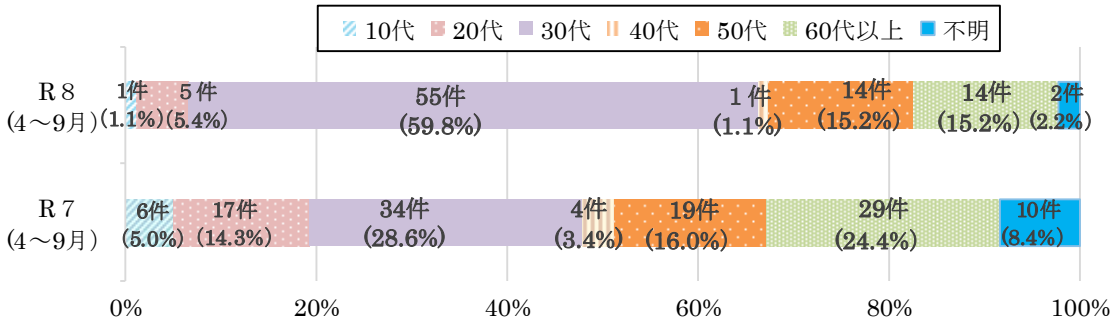
ア　LGBT 相談

(ｱ) 相談件数

区分		電話相談	面接相談	計	対前年同期比
令和８年度（4～9 月）		92 件	0 件	92 件	77.3%
令和７年度	（4～9 月）	116 件	3 件	119 件	－
	年　間	225 件	3 件	228 件	－

※　LGBT 電話相談は平成 29 年 10 月開設（開設当初は月１回）、平成 30 年６月からは毎週土曜日実施

(ｲ) 相談者の年代



(ｳ) 専門機関との連携

専門機関	令和８年度（4～9 月）	令和７年度（4～9 月）	主な事例
医療機関	2 件	4 件	性別違和による医療等
民間支援団体	4 件	7 件	心の悩み、相談先の情報収集
計	6 件	11 件	

イ　性の多様性の理解促進

講 座 名	実施日	参加者	内　容
高校生向け性の多様性に関する出前授業	5/20 (2回)	336 人	若い段階で性の多様性について正しく学ぶとともに、それぞれの個性と能力を生かして自立した生活を送るためにお互いを尊重することの大切さを考える出前授業を実施した。（R 7 上半期：4回、1,476 人）
エソール広島公開講座「知ってほしい性の多様性　保護者とともに考えよう」	7/30	198 人	子どもと多くの時間を共有する学校などの教育機関関係者を中心とする方が、性的指向やジェンダーアイデンティティ等に関する正しい知識と理解を深め、子どもたちが安心して学び暮らせる環境づくりに寄与するため、保護者の視点を共有し、子どもが抱える悩みに対するサポートについて考える公開講座を実施した。 ・理解度：98.5% ・受講者の声：「性の多様性について、保護者の立場・教員の立場・当事者の思いと様々な視点から考えを深めることができました。」など

（２）評価と今後の対応

○　LGBT 相談では、福山市での面接相談を実施し、100%と高い満足度が得られた。また、同じ悩みを抱える方同士でつながりたいという相談者のニーズを踏まえたグループ相談の場を設けたところ、「親の立場の方とお話できて参考になった。将来のことを考える機会になった」などの意見が寄せられた。下半期は、エソール広島でグループ相談会を実施する予定としている。

○　性の多様性をテーマとした公開講座の理解度は高かったものの、地域や職場、学校など様々な場面で周囲の無理解・偏見等による困難を感じる方が依然として存在しているため、引き続き企業や学校等と連携した理解促進に取り組んでいく。

４　重点分野以外の取組等

（１）事業内容

○　県や教育機関、民間団体と連携し、ジェンダーや女性活躍について取り上げた共催イベントを実施したほか、企業・団体からの研修を受託し、講師派遣を行った。

○　また、研修動画の撮影・配信やSNS等を利用した講座・研修の情報発信、図書の配架・貸出などを行った。

ア　共催事業

県や民間団体と連携し、ジェンダーに関する様々なテーマを取り上げて、講座やイベント等を行った。

区分	回数（団体数）	参加者	内　容
令和８年度 （4～9月）	10回（10団体）	715人	「ＬＧＢＴＱ+アライ交流イベント」 「自己ＰＲにも役立つ自己表現ワークショップ」など
令和７年度 （4～9月）	17回（10団体）	1,017人	「出張！エソール塾」 「お道具箱の整理ワークショップ」　など

（主な共催事業）

テーマ	実施日	参加者	内　容
「好き」から見つける自分自身　～自己PRにも役立つ自己表現ワークショップ	8/8	14人	ボランティア団体との共催により、中学生を対象に、キャリアコンサルタントや同世代の仲間との対話を通じて、自分の「好き」や「得意」に気づき、自身の魅力や強みを楽しく発見するキャリアワークと、それらをアートで表現する創作活動を実施した。また、保護者を対象とした自己理解プログラムを並行して実施した。 成果：これまで利用の少なかった若年層や保護者を対象とすることで、新たな層にエソールを知ってもらう機会となった。

イ　研修受託

企業・民間団体・行政からの受託を受け、ジェンダー平等に関する講演・講座に講師を派遣し、意識啓発を行った。

区分	回数（団体数）	参加者	内　容
令和８年度 （4～9月）	7回（6団体）	196人	職場におけるアンコンシャス・バイアス、ジェンダーギャップの解消等
令和７年度 （4～9月）	2回（2団体）	61人	子どもの人権、キャリアデザイン等

ウ　高等学校への出前授業

高校生がそれぞれの個性と能力を生かして自立した生活を送り、お互いを理解し尊重することの大切さなどについて学んでもらうため、講師を学校へ派遣する出前授業を実施した。

区分	回数	参加者	内容
令和８年度 （4～9 月）	６回	876 人	性の多様性の理解促進（２回）（再掲） 男女の相互理解等（４回）
令和７年度 （4～9 月）	14 回	2,798 人	性の多様性の理解促進（５回）（再掲） 男女の相互理解等（７回） デート DV（１回） 男女共同参画社会づくり（１回）

エ　エソールつながるトークリレー（動画配信）

男女共同参画やジェンダー平等について理解を深めるため、啓発動画を作成し、YouTube で配信することにより、広く県民への啓発を行った。【配信本数 51 本、視聴回数 2,072 回】

（令和８年度（4 月～9 月）公開動画）

テーマ	公開期間	講　師	視聴回数
若者の転出超過とジェンダー（前半）	4/18～	瀬古素子さん（叡啓大学准教授）	98 回
若者の転出超過とジェンダー（後半）	4/18～	瀬古素子さん（叡啓大学准教授）	74 回

オ　情報発信等の状況

ホームページ上でセミナーの案内や実施内容等について発信したほか、フェイスブックやインスタグラムなどの SNS を利用し、施設の利用案内や各種講座・研修の情報発信を行った。

また、女性問題、DV、人権、LGBT など男女共同参画やダイバーシティ等に関する図書等を配架、貸出しを行った。※詳細は、参考情報発信・蔵書貸出状況のとおり （P15）

（２）評価と今後の対応

○　企業等からの研修受託回数、参加者数は増加した一方で、県や民間団体と連携実施する共催事業や高等学校への出前授業の実施回数が減少した。引き続き、教育委員会等とも連携を図りながら、学校への広報等を行い、若年層への男女共同参画に関する研修機会の確保を図っていく。

○　ホームページへのアクセス数は、令和７年にスマートフォン対応にしたことや、ジェンダー川柳に関する特設サイトをエソール広島ホームページ内に設置したことなどから好調を維持している。今後も、コンテンツの充実や関係機関との連携によるエソール広島の活動の認知度向上と活動の活性化を図っていく。

第２　エソール広島の利用状況について

１　エソール広島の利用状況

（１）利用状況

ア　利用者数

エソール広島の利用者数のうち、施設利用者数は前年同期比で９割を超えており同水準を維持している一方で、共催事業等による外部施設での参加者数は３割程度となったことで、利用者数全体では前年同期と比較し約７割となっている。

区分			令和８年度（4～9 月）実績 A（割合）	令和７年度		対前年同期比 A/B
				（4～9 月）実績 B	年　間	
利用者数			13,380 人（100.0%）	18,284 人（100.0%）	34,020 人（100.0%）	73.2%
		うちオンライン参加	1,190 人	1,409 人	3,595 人	84.5%
内訳	施設利用者数		11,585 人（86.6%）	12,359 人（67.6%）	25,007 人（73.5%）	93.7%
		うちオンライン参加	1,190 人	1,409 人	3,184 人	84.5%
	研修室・交流スペース利用		9,779 人	10,282 人	21,263 人	95.1%
	情報スペース利用		1,806 人	2,077 人	3,744 人	87.0%
	外部施設での参加者数		1,795 人（13.4%）	5,925 人（32.4%）	9,013 人（26.5%）	30.3%
		うちオンライン参加	0 人	0 人	411 人	－

イ　研修室及び交流スペースの稼働率

研修目的等での稼働率は 83.3%と、前年度に比べて６．８ポイント減少している。

区分	開館日数 A	研修目的等での利用日数 B	稼働率　B/A
令和８年度（4～9 月）	180 日*1	150 日	83.3%
令和７年度（4～9 月）	181 日*2	163 日	90.1%

*1　令和８年度は、８/11～12 の２日間休館している。

*2　令和７年度は、８/12～14 の３日間休館している。

ウ　施設利用者の団体区分別の利用状況

団体区分別でみると、企業等が 8,048 人（69.5%）で最も多く、昨年度と比べて約２割増加した一方、共催団体や行政による利用が減少している。

区　分	令和８年度 (4～9 月) 〔団体別割合〕 (利用形態割合)	(利 用 形 態)				令和７年度 (4～9 月)	対前年 度比
		講座・研修	交流会	会議・打合せ	その他		
共催団体	402 人 〔3.5%〕 (100.0%)	302 人 (75.1%)	28 人 (7.0%)	0 人 (0.0%)	72 人 (17.9%)	799 人	50.3%
企業等	8,048 人 〔69.5%〕 (100.0%)	4,832 人 (60.0%)	641 人 (8.0%)	1,461 人 (18.2%)	1,114 人 (13.8%)	6,691 人	120.3%
行政	467 人 〔4.0%〕 (100.0%)	363 人 (77.7%)	15 人 (3.2%)	69 人 (14.8%)	20 人 (4.3%)	1,453 人	32.1%
男女共同参画財団(主催事業)	862 人 〔7.4%〕 (100.0%)	502 人 (58.2%)	0 人 (0.0%)	20 人 (2.3%)	340 人 (39.5%)	1,339 人	64.4%
情報スペース利用者	1,806 人 〔15.6%〕 (100.0%)	－	－	－	1,806 人 (100.0%)	2,077 人	87.0%
合　計	11,585 人 〔100.0%〕 (100.0%)	5,999 人 (51.8%)	684 人 (5.9%)	1,550 人 (13.4%)	3,352 人 (28.9%)	12,359 人	93.7%

※割合は端数調整の関係で合計が一致しない場合がある。

（２）評価と今後の対応

○　最も利用者数の多い企業等については、定期的に開催している研修等が定着しつつあることから、順調に利用者が拡大してきている。

○　一方で、共催団体や行政からの利用者については、利用状況が年度によって一様でないことから、今後も県・市町や関係団体と連携した活動や広報啓発をすすめるとともに、様々な機会を捉え、エソール広島の活動の認知度を向上させ、利用促進を図る必要がある。

参考　情報発信・蔵書貸出状況

1　ホームページ等

ホームページ	アクセス件数：80,891 件（前年 4～9 月： 78,993 件） アクセスの多いページ（HOME を除く） ① ちぃともやもやジェンダー川柳コンテスト 2026 関連ページ集計（32,514 件） ② ちぃともやもやジェンダー川柳コンテスト 2025（4,367 件） ③ 施設案内（2,820 件） ④ 施設利用（2,755 件） ⑤ 相談したい方（2,738 件） ⑥ 施設予約状況（1,879 件） ⑦ エソール広島フェア（1,395 件） ⑧ トピックス（1,207 件） ⑨ エソール広島の概要（1,140 件） ⑩ ちぃともやもやジェンダー川柳コンテスト 2024（1,105 件）
フェイスブック	投稿回数： 31 回（前年 4～9 月：53 回） フォロワー数：768 人（前年度末：766 人） 主な配信内容：①研修・イベント情報（財団主催）（19 件）②図書の紹介（5 件） ③研修・イベント情報（共催事業）（4 件）④施設情報（3 件）
インスタグラム	投稿回数： 31 回（前年度：53 回） フォロワー数：412 人（前年度末：317 人） 主な配信内容：①研修・イベント情報（財団主催）（19 件）②図書の紹介（5 件） ③研修・イベント情報（共催事業）（4 件）④施設情報（3 件）
メールマガジン	配信回数：15 回（情報数 99 件）（前年 4～9 月：19 回（情報数 107 件）） 登録者数：1,781（前年度末：1,703 人） 主な配信内容：①研修・イベント情報（財団主催）（36 件） ②財団からの情報（26 件） ③県内市町からの情報（14 件） ④研修・イベント情報（共催事業）（13 件） ⑤広島県からの情報（10 件）
ユーチューブ	公開本数： 2 本（総登録数 51 本）（前年度公開本数：10 本） 登録者数：213 人（前年度末：208 人） 視聴回数：2,072 回（前年度 4～9 月：4,015 回） 総再生時間：248.1 時間（前年度 4～9 月：425.3 時間）



2　文献情報等

区　分		保有数	貸出数	
			令和８年度	令和７年度
一般図書	男女共同参画に関する内容	3,500 冊	226 冊	345 冊
行政資料	国･都道府県作成の男女共同参画に関する調査・統計・報告書等	107 冊	（館内閲覧）	（館内閲覧）
DVD	女性の生き方を考える国内外の映画･ドキュメンタリー等	30 本	０本	０本